



CT室で急変が起きました。を想定して BLSの訓練！

はんちゅーナーズ便り



Vol.14

発行人
看護部長室

今後の予定

8月24日(土)に、初めてのランチしながら、リラックした雰囲気の中で、先輩「はんちゅーナーズ」とお話ししてみませんか？という企画の、ランチオンセミナーを行います。
おいしいランチと看護の先輩との交流！気軽に参加してくださいね。

真夏の地域貢献だより

夏7月から9月にかけて地域貢献で様々なお祭りやイベントの救護に行きます。にぎやかな楽しそうなイベントを尻目に、熱中症にならないように、また熱中症のケアにと忙しいです。
救護班の活動で地域住民の方が安心してお祭りが楽しめたらよいですね。
いつも「阪奈の看護師さんか？」と声をかけてくれます。今年も暑い中、救急救命士と共に毎週土曜日に救護に向かいます。



万が一の時に活かすことができますように救急救命士と共に頑張っていきます。

今後大切な訓練を

BLSとは、Basic Life Supportの略称で、心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置のことです。
今回、CT室で位置合わせをしている時に反応が無くなる想定での訓練、研修を行いました。この訓練は放射線技師からの依頼で実現しました。放射線技師・医師・看護師が参加しました。
緊張に負けずに、真摯に向き合い、救急外来のスタッフに引き継ぐまでを行いました。病院の中ではいつ何が起るかわかりません。
今回の訓練では、様々な問題点も浮かび上がりました。AEDの場所は？コードブルー宣言は？胸骨圧迫が早く浅い経口エアウェイはどこ患者や乗乗のタイミングが合わないよ

感染管理認定看護師仕事の紹介

感染管理認定看護師の仕事は感染管理領域において熟練した看護技術と知識を駆使した水準の高い看護の実践です。患者さまを感染症から守るエキスパートです。新型コロナウイルス感染症をはじめ様々な感染症の最前線に立って活躍してくれています。



看護部長のひとこと



前回に引き続き、ユマニチュードの4つの柱について一つずつ触れてみたいと思います。今回は「触れる技術」についてお伝えしてみたいと思います。ケアを行う時、たとえば着替え、歩行介助などで私たちは必ず相手に触れています。その時相手をつかんでいることに私たちは無自覚です。つかむ行為は相手の自由を奪っていることを意味し、認知症行動心理症状のきっかけとなってしまうこともよくあります。触れることも相手へのメッセージであり、相手を大切に思っていることを伝えるための技術を用います。具体的には、「広い面積で触れる」、「つかまない」、「ゆっくりと手を動かす」ことなどによって優しさを伝えることができます。触れる場所もコミュニケーションの重要な要素です。できるだけ鈍感な場所（たとえば背中、肩、ふくらはぎなど）から触れ始め、次第により敏感な場所（たとえば手、顔など）に進みます。